

令和4年度 第2回伊那北高等学校評議員懇談会報告

学校評議員運営委員会

- | | | | |
|-----|-----|---|--------------|
| I | 日時 | 令和5年1月28日(土) 16:05~17:15 | |
| II | 会場 | 高志館1階研修室 | |
| III | 出席者 | 〔評議員〕 有賀 泰司(義務教育関係) 大神田淳子(大学関係)
傳田 智子(上伊那広域連合) 福澤 勉(自治会関係)
松井 秀之(企業関係) 岩崎 靖(同窓会関係)
向中野文子(保護者)
〔職員〕 学校長 教頭 事務長 齋藤(教務・学校評価) 山崎(進路)
木村(特別支援) 中村(CPA) 山岡(PTA) 若林(職場代表) | |
| IV | 次第 | (司会:教頭) | |
| | 1 | 学校長挨拶 | |
| | 2 | 第1回学校評議員懇談会まとめ | |
| | 3 | 本年度の活動中間報告 | |
| | | (1) 進路指導(山崎) | (2) 生徒指導(倉澤) |
| | | (3) 特別支援教育(木村) | (4) 学校評価(倉澤) |
| | | (5) CPA(中村) | (6) PTA(山岡) |
| | | (7) その他(倉澤) | |
| | 4 | 意見交換 | |
| | 5 | 学校長挨拶 | |

1 意見交換会で出された意見等のまとめ

(1) 学校教育全般について

- ・総合的な探究の時間や課題研究の発表会において、助言者からの講評を熱心に聞こうとする子どもたちの姿勢がとても良かった。背中からもその姿勢が伝わってきた。生徒が自分で考える時間を作ることはとても大切な経験となる。また、教員も寄り添いながら一緒に考えることで、子どもたちが成長する大切な経験となる。
- ・地域との連携で自分の問題解決に行き着いたことはすばらしい。研究の中で信大でも取り組んでいることにつながっている。また、高校生と大学の交流ができるようになってきたことは良いこと。今後も建設的に継続していきたいと思う。伊那北と信大の連携の在り方はモデルケースになるのではないか。
→2年理数科の課題研究でキノコをテーマにした班が方法に行き詰まり信大の先生に相談したところ、大学先生から直接指導を受けることができた。また、本日の発表会には、信大から課題研究でお世話になった先生方が3人も来校していただいた。先生方からは「依頼があれば協力は惜しまない」と心強い言葉をいただいた。今後も建設的な関係を持ち続けたいと願っている。
- ・問題解決の活動については、どのようなテーマで何をやるかを決めることが難しい。また、どのような方法で取り組むかを、先生方が丁寧にアドバイスをしてあげてほしい。そのプロセスの楽しさを感じさせてほしい。これからの子どもたちにとってはとても大切なことだと思う。

- ・総合的な探究の時間発表会を見学したが、今までの積み重ねにさらに工夫が加えられ、昨年度より発展的なものになっていた。地域に出たり、自分で調べたりと人と接する活動が多く見受けられた。本人の自信に繋がっていくと思う。「高校生が元気＝地域が元気」であると思っている。地域にも手伝う発想が芽生え、共に学ぶ機会を高校生が作り出してくれている。高校生も社会参画の時代になってきている。仕組みづくりの手伝いサポートをしていきたい。また、伊那北高校には生徒の活動を支援するバックアップ体制も充実している。是非、応援したい。
- ・探究活動においては、誠実で努力を惜しまずリスペクトの念と情熱をもった生徒に導いてほしい。伊那北高校には多くの卒業生がいるので、その広いネットワークを活用してほしい。
- ・総合的な探究の時間の発表を見て、子どもたちは伊那北高校でいい経験をさせてもらっていると感じた。また、一方で基礎学力も大切だとも思っている。
- ・今後、探究の活動を地域でも応援していきたいが、活動についてのフィードバックや意見交換の場を作ってほしい
- ・学際コースの内容についてお聞きしたい。
 - 文系選択者でより広く深く学びたい希望をもつ生徒。1クラスを予定。来年度は30名程度の生徒が希望。
- ・ペン祭等感動を得られるような行事を是非実施してほしい。一生涯の友人を得る貴重な3年間になってほしい。太い気持ちを持った生徒に成長してほしい。
- ・野球部の活躍は卒業生だけでなく地域の方にも甲子園の夢も見させてくれた。他にもダンス部など部活の活躍は自慢できること。印象的なキラキラする1年であった。
- ・野球やダンス部等多くの部活が活躍した。ただ、応援に行く生徒や教養講座へ参加する生徒が少ないことは残念である。貴重な機会であるので、参加へのアピールを行い人数が増やしてほしい。
- ・クラス替えについては、メリット・デメリットがあると思う。クラス替え後には、生徒だけでなく親も相当なエネルギーが必要である。やめてほしいという意見は中学にもある。
- ・クラス替えで、高校時代大変だった思い出がある。

(2) 生徒指導及び基本的な生活習慣について

- ・中学校の修学旅行で初日の写真撮影では、マスクを外せない生徒が多かった。2日目・3日目となって外せる生徒が増えてきたが、コロナによる3年間は生徒の心の負担は大きかったと感じている。
- ・応援練習について現状をお聞きしたい。大人になっても歌う機会があるので、在学中に覚える機会を持ってほしい。
 - コロナ前までは校歌と天竜河畔を放課後練習する機会があった。コロナの2年間は中止となり、お昼の放送等で校歌や天竜河畔流し覚えてもらうことを行っていた。今年は縮小した形ではあるが各クラス1回放課後、練習する機会を設けた。

(3) 情報発信について

- ・新聞報道の情報発信は良い。ホームページだけでの発信であれば目にしないことがあっても、新聞報道は必ず見るし地域にも伝わりやすい。

(4) 高校再編整備計画について

- ・新校について両校の話し合いの状況や校名の募集等についてお聞きしたい。
→両校の話し合いは、各校の代表者によって進められている。来年度当初には必要な小部会を作り、より具体的な内容の話し合いが進められることになる予定である。
校名について 詳細は未定であるが、公募することになると聞いている。
- ・新校においては、伊那北の良いところを残して良い学校ができればと願っている。

(5) その他

- ・野球部の生徒による雪かきは、地域としてもとてもありがたい。涙が出る思いである。
- ・伊那市リノベーション計画の一つに、学園都市構想が入っている。30歳以下で構成することになっており、山寺区も協力する。高校生に入ってもらってもよいと思っている。
- ・東斜面は急傾斜地に指定され県で工事を行った。景観のこともあるので今後の管理について管理地区の上村町と協力しながら検討してほしい。
- ・1万円道路の拡張（車道5m＋歩道2m）工事が来年度着工予定となっている。桜や記念碑の移設が必要になる。移設先について理解をお願いしたい。
- ・学校林が伐採時期を迎えている。新校やの一部や生徒に利用してもらえる案等検討をお願いしたい。
- ・コロナ禍でPTA活動が十分にできなかった。子どもたちがお世話になっているのに、何も学校のためにできなかったことが悔やまれる。

2 今後に向けて

- (1) 学校の様々な教育活動及び生徒の様子に関しては、一定の評価をしていただいた。特に探究活動についてはどの方からも高い評価であった。現状維持は後退につながるので、改善・充実・向上を目指して全員で協力しながら議論を深めることをお願いしたい。
- (2) 第1回の懇談会で出た意見を意識しながら、各係の先生方が教育活動をしていただけたことがうれしい。来年度の計画の中にも今回出た意見や助言の内容を活かしていただきたい。